

場外馬券売り場設置 請願採択

『賛成議員間違っている』

彦根市会・一般質問

彦根市議会が場外馬券売り場の設置を求める請願を採択したことに対し、獅子山市長は「ギャンブル施設には反対」との持論を述べ、「彦根の議員はどうしてこんなにギャンブル好きなのか」と不愉快に思っている。市民もいる。他の自治体関係者からも「彦根は何やってるのか」と述べた。

市長見解「不愉快に思う市民いる」

場外馬券売り場を設置するよう求めて地元住民らが昨年十二月定例議会に提出。議会は継続審査の末、二月二十六日の本会議で十四対十一の賛成多数で採択した。

この日は請願に賛成した市議が、採択の重みについて市長の見解をた

とからかい半分の言葉を受けて「と答えた。そのうえで「請願に賛成した十四人の方々には間違ってますよ、と言いたい。反対した十一人にはありがとございます、と言いたい」と述べた。

(秋元太一)

近江同盟新聞

発行所

近江同盟新聞社

彦根市立花町2-63

TEL 23-0066

FAX 23-0067

購読料 月840円

(消費税5%込み)

日・水曜・祭日休刊

禁無断転載

市議会一般質問終わる

彦根市議会三月定例会は七日までに一般質問を終えた。五日の会派代表質問に続き、六日は個人九議員が登壇し午後六時ごろまで、七日は六議員が同三時半ごろまで質問した。なお、個人十二番目に予定していた成宮祐二議員(無党派・共産党)は風邪のため七日に欠席し質問できなかった。また四番目だった山田多津子議員(同)は風邪で五・六日に欠席し、質問順を最後に繰り下げ七日に質問した。八日からは各議案と請願の委員会審査に入り、本会議は最終日の十五日に再開して討論や採決を行う予定。

馬券売場

賛成派議員が質問

市長答弁と噛み合わず

二日間にわたった個人質問十五議員のうち、最後となった田島茂洋議員(公政会)は七日午後、場外馬券売場設置に賛成の立場から、今定例会初日に推進団体の同意請願を賛成十四(反対十一)で採択したことに対する獅子向洋市長の反対コメントについて質問した。田島議員は「請願が採択されたことは大変喜んで感謝しているが、翌日の新聞で市長コメントを見て驚いた。議会の威信に関わる重要なことと思ひ質問する」。また「請願採択の意義は議員として重いものと思ひ、請願は市民に密着した身近なものと考え」と前置きして、まず市長にコメントの中身について見解を求めた。獅子市長は、記者会見の中身について「ギャンブル施設反対は以前からの公約であり新聞の通り」と説明、採択には市民の批判や他市から揶揄(やゆ)の声を聞いており、議員の皆さんと別のところにあるようだ。十四議員に間違っている、十一議員にありがとうと言いたい」と答弁。

田島議員は「見解の相違」と発言し、次に「競馬勝馬投票券発売所は国の法律で認められギャンブルに当たらないと考える」として「ギャンブルの定義」について説明を求めた。市長は「とばくは本来違法だが、競馬法で特定の団体ができるとした公認とばくであり、ギャンブル施設といつて問題ない。パチンコは風俗営業法により認められとばくではない」と説明した。これについても田島議員は「見解の相違」として、次に企業誘致の面から増や雇用拡大面、誘致に市の負担は一切ないなどと賛成論を述べ「請願採択の施設は優良企業と言わないのか、優良企業とは何か」と市長見解を求めた。市長は松下電工やフジテックなど過去の誘致例を挙げ「優良企業とは、その企業の目的が重要、市民として誘致に誇りが持てる市品格を上げる工場である。優良企業には金(奨励金)を出してでも来てほしいが、逆に金を出して(市への多額寄付話など)でも来るとするのはマユツバもの、場合によっては金に相応する悪い影響があるかもしれないと考えるのが、政治に携わるものの役割である」と答弁した。田島議員は「少し違うのではないか」と反論した上で、さらに青少年問題について「先進地視察で絶対問題ない」と聞いたが、いかがかと質問。市長は過去の新聞を紹介して少年犯罪の多さやギャンブル依存症、競馬場では未成年を見分けられないことなどを説明。

これに対して田島議員は「非常に残念な答弁。市長の資料は古く、私たちは昨年、先進地の市職員から直接聞いてきた。私は責任を持って青少年問題は一切ないと考える」と反論した。このあと田島議員は予定地周辺の交通問題や開発協定書について六項目に渡り質問。都市建設部長は答弁の中で、施設への専用道路について「以前の確認書締結から十年近く経って様々な状況が変化しており現段階では答えられない」、開発協定書に基づく交通問題と設置同意について「協定書は開発事業計画に基づき締結するものであり別問題と考える」と答弁した。最後に田島議員が「当該施設に願意を持つ人たちの権利(人権)を守るべき」と追及したのに対して、獅子市長は「彦根として不要施設と思っている。市民の安全と安心を守る市長の役割として反対している」と

明言した。これに対して田島議員は「天地神明に誓って、言われるようなギャンブル施設ではない、不要な施設ではない。たくさん同意をされた市民もいる」と質問を締めくくった。場外馬券売場についての議論は、代表質問の彦政会・松本忠男議員の代表質問(五日)に続くもの。時間制限もあり、田島議員の発言が少なく獅子市長の一方的な持論展開の面も見られたが、議論は真つ向から対立、終始かみ合わないままだった。賛否判断は読者や市民に委ねたく、議論の模様を紙上再現した。(山本進一記者)